

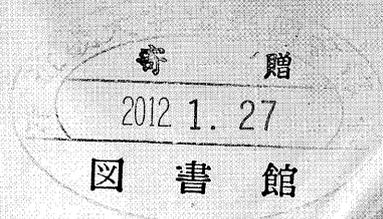
1010K

図書館
ISSN 0385-8367

Medical Journal of Kinki University

近畿大学医学雑誌

第36卷 第3・4号 2011



MEDICAL JOURNAL OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学医学雑誌

第36巻 第3, 4号 2011

目 次

巻 頭 言

がん治療の変遷を鑑みて植村天受

総 説

超音波内視鏡による診断と治療北野雅之, 坂本洋城, 工藤正俊 129

原 著

機械的ストレスによる軟骨変性に対するヒアルロン酸の保護作用と細胞内情報伝達機構中川晃一 137

医学教育シリーズ

医学部 CPC クラブの2011年度活動記：下腿の腫脹，疼痛を来した27歳の女性をめぐる
森 英輝, 小山貴与子, 杉田義人, 加藤 寛, 吉川智恵, 大島理奈, 田下大輔, 村山裕一,
 荻野真也, 津田郁久, 船内正憲 145

大学院医学研究科シリーズ

医学研究のあり方宮澤正顯 151

研修医のための教育講座

急性心筋梗塞の病態と治療生田新一郎, 宮崎俊一 157

モーニングセミナーから

抗血栓薬服用患者および出血性素因を有する患者の歯科観血的処置について：医科と歯科との連携で
 安全に処置を行うために栗本聖之, 中原寛和, 榎本明史, 内橋隆行, 内橋俊大, 濱田 傑 167

クリニカルクイズ

出題と解説北山仁士, 西野貴子 173

第70回近畿大学医学会学術講演会

プログラム 1 A

平成22年度近畿大学医学会賞受賞者リスト 3 A

抄録 9 A

第22回（平成24年度）近畿大学医学会奨励賞募集要項 1 S

索引（36巻1号，2号，3，4号） 177

編集後記川田 暁

編集後記

36巻の3, 4合併号を発行させていただきます。原著論文の投稿が少なかつたため、合併号とさせていただきます。次号からはまた原著論文が増えることを期待しています。今号から新たな企画が1つ始まります。大学院医学研究科科長の東田教授にご企画いただいた「大学院医学研究科シリーズ」です。第1回目として宮澤教授が「研究のあり方」を執筆してくださいました。近畿大学医学部の研究において、このシリーズは大学院生のみならず医学生や研修医にもとても役立つと思います。

編集長 川田 暁

今年度、御多忙の中 近畿大医誌と Acta Med Kink Univ に投稿された論文を査読して頂いた先生方に感謝の意を表して下記にお名前を列記致します。(論文受付順)

中川 和彦 (腫瘍内科教授)	西尾 和人 (ゲノム生物学教授)
宮澤 正顯 (免疫学教授)	磯貝 典孝 (形成外科教授)
齋藤 昭夫 (生化学講師)	村上 卓道 (放射線診断学教授)
佐藤 隆夫 (病院病理部教授)	北野 雅之 (消化器内科准教授)
竹山 宣典 (外科・肝胆膵部門教授)	吉田 益喜 (皮膚科准教授)
原 聡 (外科・肺乳腺内分泌部門准教授)	加藤 天受 (脳神経外科教授)
梶 博史 (再生医療教授)	北山 仁士 (心臓外科准教授)
高橋 英夫 (薬理学教授)	有馬 秀二 (腎臓・膠原病内科教授)
朝村 真一 (形成外科准教授)	重吉 康史 (解剖学教授)
廣畑 健 (外科・肺乳腺内分泌部門講師)	千葉 康敬 (臨床研究管理センター医学部講師)
中島 宏和 (呼吸器・アレルギー准教授)	三井 良之 (神経内科准教授)
岡田 清孝 (再生医療講師)	義江 修 (細菌学教授)
大磯 直毅 (皮膚科講師)	村田 哲 (生理学准教授)
濱田 傑 (口腔外科教授)	竹村 司 (小児科教授)
宮良 高維 (呼吸器・アレルギー講師)	森 一功 (耳鼻咽喉科教授)
植村 天受 (泌尿器科教授)	奥野 清隆 (外科・下部消化器教授)
白川 治 (精神神経科教授)	久米 裕昭 (呼吸器・アレルギー准教授)
野澤 昌弘 (泌尿器科講師)	塩田 充 (産科婦人科教授)
今本 治彦 (内視鏡外科准教授)	土井 勝美 (耳鼻咽喉科教授)
楠 進 (神経内科教授)	岡本 勇 (腫瘍内科准教授)
肥田 仁一 (外科・下部消化器准教授)	吉村 一宏 (泌尿器科准教授)
荒尾 徳三 (ゲノム生物学講師)	川畑由美子 (内分泌・代謝・糖尿病内科准教授)
坂田 尚己 (小児科准教授)	福田 寛二 (リハビリテーション医学教授)

近畿大学医学会会則

第 1 条 本会は、近畿大学医学会と称する。

第 2 条 本会は、医学の進歩発展に寄与し、医学的知識の向上と、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kinki University の発行
2. 学術講演会の開催
3. 学術図書の発行
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 4 条 本会は、次の会員をもって組織する。

正 会 員 近畿大学医学部に所属する教員，研修医，大学院学生および特別研究生

近畿大学学園の医学部以外の教職員および研究員で本会に入会を希望し評議員会で承認されたもの

近畿大学医学部卒業生

準 会 員 近畿大学医学部に在学する学生

名誉会員 本会の発展に著しい貢献のあった者で、幹事会の提議により評議員会で承認されたもの

特別会員 前記会員のほか、本会の主旨に賛同し入会を希望する医学関係者で評議員会で承認されたもの

賛助会員 本会の主旨に賛同し、本会に援助することを希望するもので評議員会で承認されたもの

第 5 条 会員は、附則に定める会費および入会金を納入しなければならない。

2. 会費を納入した会員は、近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kinki University の配布を受け
るほか、第 3 条の事業に参加することができる。
3. 準会員は第 3 条の事業に参加できるが雑誌の定期的配布は受けられない。但し学術講演会や雑誌
に発表した場合は当該巻号の雑誌を希望により受けることができる。

第 6 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1 名 近畿大学医学部長がこれにあたる

副 会 長 1 名 会長が委嘱する

顧 問 若干名 会長が委嘱する

幹 事 若干名 会長が委嘱する

評 議 員 若干名 会長が委嘱する

監 事 2 名 会員中より評議員会で選出し会長の承認を得る

2. 役員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

第 7 条 会長は、本会を統轄し、必要に応じて幹事会、評議員会を開催し、その議長となる。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、これを代行する。

第 8 条 幹事は、幹事会を組織し、本会の会務（庶務・会計・編集その他）を分担し執行する。

第 9 条 評議員は、評議員会を組織し、本会の重要事項を評議する。

第 10 条 監事は、本会の会計および資産などを監査する。

第 11 条 総会は、年 1 回これを開催し事業の報告などを行う。

第 12 条 本会の会則を変更する場合は、評議員会において出席者の 2 分の 1 以上の同意を必要とする。可否

同数のときは議長の決めるところによる。

ただし評議員会の成立は2分の1以上の出席を要する。この場合委任状をもって出席に代えることができる。

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

第14条 本会の事務所は、近畿大学医学部内におく。

附 則

1. この会則は、昭和51年11月1日から施行する。
2. この会則の改正は、平成23年4月1日から施行する。
3. 会費および入会金は次のごとく定める。

	会 費	入会金
正 会 員	年額 3,000円	1,000円
準 会 員	会費, 入会金ともに無料とする	
特別会員	年額 3,000円	1,000円
賛助会員	年額 50,000円以上	

なお、会費・入会金を変更する場合は評議員会において定め、会員にその旨通知する。会費は、年度始めに前納する。

4. 会費未納の場合は、会員の資格を失う。
5. 会長は、編集委員若干名を医学部教員中から委嘱する。

編集委員は、医学雑誌等の発行に関する業務を行う。任期は3年とし、再任を妨げない。

(2011年4月1日改訂)

近畿大学医学会雑誌投稿規定

1. 近畿大学医学会は公式に2種の雑誌を刊行している。その一つは欧文誌の Acta Medica Kinki University (Acta Med Kinki Univ) で、用語は英語とするが、ドイツ語あるいはフランス語の論文も受付ける。他は和文誌の近畿大学医学雑誌(近畿大医誌)で、用語は日本語とする。
2. 投稿者は原則として近畿大学医学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に依頼したものはこの限りではない。
3. 論文は医学に関する創意的な原著、総説、症例報告などで、原則として他の刊行物に発表もしくは受理されていないものに限る。
4. 原稿は良質な用紙を用い、本規定および別に定める原稿作成要項に従って作成され、内容と体裁が整っており、直ちに印刷することができる状態のものでなければならない。
5. 原稿の本文の長さ、ならびに図、表、および文献の数は全体のバランスにより制限することがある。
6. ヒトを対象とする研究の報告は、ヘルシンキ宣言の原則にのっとり倫理的になされたものである事を記載しなければならない。また、動物実験の報告は動物愛護の精神に基づき倫理的になされたものである事を記載しなければならない。
7. 既出版の図表などの引用については出版社および著者の承認書を添付し、また個人識別ができる患者の写真を掲載するときは、患者本人もしくは法定代理人の承諾の手紙を添付することが必要である。
8. 投稿の際は、原稿(original)およびコピー(Acta 4部、近畿大医誌3部)ならびに編集委員会所定の連絡票および原稿チェックリストを提出する。
9. 共同執筆の場合、近畿大学医学会所定の書式で、すべての共著者が当該原稿の投稿を承認したことを記述した資料を添付すること。
10. 投稿原稿の掲載の可否は、すべて編集長が依頼した担当編集委員及び複数の査読者による査読を経て、決定される。
11. 論文の掲載の順序は、原則として完成原稿の受理日の順とする。ただし、校正等に要する時間によっては掲載される号が変わることがある。
12. 校正は著者の責任において行われる。著者校正は初校のみとする。初校にあつては必要最小限の訂正に止め、行の増減を伴わないよう配慮すること。組版に影響するような大きな修正は編集長の許可を必要とする。指定の期日までに返却されないときは編集委員会の責任校了とする。
13. Acta Med Kinki Univ については、カラー写真の費用は全額著者が負担するものとする。近畿大医誌については、組版代および図版(写真を含む)費用の全額を著者が負担するものとする。また両誌とも別刷についてはすべて有料とする。尚、編集委員会からの依頼論文など特殊な場合の経費については、別途に定める。
14. 特急査読論文として当該年度の3月15日に学位記を授与されるための論文(甲)を9月1日より10月31日までの間に投稿する場合、近畿大学医学会事務室に特急査読料(100,000円)を納付した後に受付される。
15. 発行予定は、Acta Med Kinki Univ では年2号(6, 12月)、近畿大医誌では年4号(3, 6, 9, 12月)とする。
16. 投稿先は〒589-8511大阪狭山市大野東377番地の2 近畿大学医学部 近畿大学医学会雑誌編集室(電話072-366-0221 内線3218 FAX072-367-8810)とする。著者本人が持参するか、書留郵便で郵送すること。
17. 「原稿作成の手引」は各巻の第1号に掲載されている。また、必要な場合は編集室に直接申込むこと。
18. 論文の著者および共著者は、当該論文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された論文については冊子体以外の媒体で公開されることを承諾したうえで投稿する。

(2008年5月1日改訂)

近畿大学医学会役員

会長	塩崎 均	幹事(会計)	東田 有智
副会長	義江 修	〃	〃 楠 進
顧問	大柳 治正	〃 (編集)	川田 暁
幹事(庶務)	池上 博司	評議員	教授 全員
〃	〃 竹村 司	監事	重吉 康史

編集委員会

川田 暁 (編集長)			
東田 有智 (大学院医学研究科シリーズ)	伊藤 彰彦	池上 博司 (教育講座)	
上裕 俊法	加藤 天美	中尾 慎一	平出 敦 (医学教育シリーズ)
松村 到	宮崎 俊一 (モーニング・イブニングセミナー)	宮澤 正顯	
村上 卓道	中川 和彦	西尾 和人	奥村 二郎
奥野 清隆	竹村 司 (クリニカルクイズ)	巽 信二	竹山 宣典

「原稿作成の手引き」は各巻の第1号にあります。
また必要な方は編集部宛お申込み下さい。

近畿大学医学雑誌

第36巻 第3, 4号

平成23年12月25日 印刷
平成23年12月25日 発行

発行人 塩崎 均

編集人 川田 暁

発行所 近畿大学医学会
☎589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2
近畿大学医学部内

印刷所 近畿大学 管理部 用度課(出版印刷)
☎577-8502 大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・
出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

Author Index (36卷1号~4号)

E	榎本明史	167
F	船内正憲	145
	藤原季美子	43
H	濱田傑	167
	平出敦	63, 101
	平川真吾	105
I	生田新一郎	157
	井之上由美子	105
	石井一成	19
	岩永善高	111
K	香川祐毅	19
	加藤天美	57
	加藤寛	145
	北野雅之	129
	北山仁士	173
	小山貴与子	145
	工藤正俊	129
	熊野正士	19
	栗原敏修	101
	栗本聖之	167
M	丸谷怜	91
	松田外志朗	101
	松尾理	39
	宫地加奈子	105
	宫崎俊一	111, 117, 157
	宫澤正顯	151
	森英輝	145
	森山健三	43
	村上卓道	19
	村山裕一	145
N	中川晃一	137
	中原寛和	167
	中尾慎一	3
	西川裕作	53
	西野貴子	173
	野口周也	33
	野村守弘	105
O	荻野真也	145
	岡田真広	19
	沖本奈美	117
	奥野清隆	71
	大野恭裕	33
	大島理奈	145
S	西郷和真	47
	坂本洋城	129
	真田寧皓	57
	佐野安希子	53
	塩崎均	81
	白川愛子	81
	杉田義人	145
	助川寧	71
T	高瀬徹	117
	七部史	9

	田中陽一	33
	田下大輔	145
	津田郁久	145
	塚本敬造	53
	辻直子	33
U	内橋隆行	167
	内橋俊大	167
	上原圭司	25
	上栲潔	53
W	綿谷正弘	81
	綿谷奈々瀬	53
Y	柳生行伸	19
	山縣俊之	53
	山元奈穂	81
	山本裕美	117
	山添讓	43, 105
	吉年正宏	105
	義江修	81
	吉川智恵	145
	吉村一宏	121
	卷頭言 福田寛二	1号
	奥野清隆	2号
	植村天受	3, 4号
	編集後記 川田 暁	1号, 2号, 3, 4号

Subject Index (36卷 1号～4号)

A	AIS 液	25		出血性素因	167
	ALI	53	T	単球	81
	ARDS	53		蛋白質分解酵素	137
	ATP	25		TGF- β 1	81
C	cancer vaccines	71	V	vaccines	71
	clinical trials	71		volume helical shuttle	19
	CPC クラブ	145	Z	全脳虚血	3
D	2,3-DPG	25		自己学習習慣	39
	dynamic CT	19		自己血輸血	25
E	エダラボン	3			
	英文症例	145			
G	1型糖尿病	33			
	誤嚥性肺炎	53			
H	敗血症	53			
	ヒアルロン酸	137			
	HLA	33			
	放射線被曝量	91			
I	医科・歯科主治医の連携	167			
	インスリン治療	33			
	インスリン依存状態	33			
K	冠動脈バイパス手術	91			
	鑑別診断	145			
	関節軟骨	137			
	肝細胞癌	19			
	肝臓	19			
	活性酸素種	137			
	川崎病	91			
	川崎病冠動脈病変	91			
	ケモカインレセプター	81			
	機械的ストレス	137			
	コミュニケーション能力	39			
	抗 GAD 抗体	33			
M	MDCT	91			
	問題解決能力	39			
	網膜神経線維走行	9			
	multidetector-row CT	19			
N	N Engl J Med	145			
	脳白質	3			
	乳がん	81			
	入射角度	9			
P	PBL (Problem-based learning) テュートリアル	39			
	peptide vaccines	71			
	phase IIIas topic	71			
R	review [publication type]	71			
	緑内障	9			
S	せん妄	3			
	洗浄回収式自己血輸血	25			
	石灰化	91			
	歯科観血処置	167			
	診断的処置	145			
	視野	9			
	subunit	71			
	膵炎	33			

第70回 近畿大学医学会学術講演会プログラム

第70回近畿大学医学会学術講演会プログラム

平成23年7月9日(土)13時00分～15時30分

於 近畿大学医学部大講堂

当番教室 免疫学教室・産婦人科学教室

一 般 演 題

座長 梅本雅彦 講師 (13時00分～13時40分)

1. 骨膜幹細胞より再生誘導された新生骨組織における骨膜採取部位の影響

形成外科学教室

○松島星夏, 徳井 琢,
磯貝典孝

2. ガドキセト酸ナトリウム造影 MRI 肝細胞相で低信号を呈する乏血性結節の多血化予測

放射線医学教室 (放射線診断学部門)

○兵藤朋子, 岡田真広,
香川祐毅, 熊野正士,
任 誠雲, 柏木伸夫,
柳生行伸, 今岡いずみ,
足利竜一朗, 石井一成,
工藤正俊, 村上卓道

3. 走行負荷でのマウス膝関節変形の検討

整形外科教室 (運動器病態制御外科学)

○橋本和彦, 赤木将男,
岸本英樹, 瀧西千秋

高度先端総合医療センター (再生医療部門)

寺村岳士, 小野寺勇太

4. ストレスに対するヒアルロン酸の軟骨保護作用

整形外科教室

○中川晃一, 福田寛二,
瀧西千秋

高度先端総合医療センター (再生医療部門)

寺村岳士, 竹原俊幸,
小野寺勇太

5. 変性軟骨におけるレニン・アンジオテンシン系の関与

整形外科教室

○井上紳司, 赤木将男,
朝田滋貴, 瀧西千秋

高度先端総合医療センター (再生医療部門)

寺村岳士, 竹原俊幸,
小野寺勇太

特 別 講 演

座長 塩崎 均 教授 (14時00分～15時00分) (外科学教室(医学会会長))

「泣き虫少年がオリンピックの舞台まで」

山本貴司 教授 近畿大学入試センター・入試広報課
受賞記念講演

座長 松本長太 教授 (15時15分～15時30分) (眼科学教室)

「網膜神経線維走行モデルを用いた緑内障診断に関する研究」

七部 史 助教

第22回（平成24年度）
近畿大学医学会奨励賞募集要項

平成23年12月25日

近畿大学医学会

会長 塩崎 均

記

1. 近畿大学医学会は、医学分野における学術研究の進歩発展と奨励のために、顕著な研究業績を挙げた本会会員に対して「近畿大学医学会賞」を制定し、すでに第6回（平成8年度）本賞を贈呈してきました。
2. 平成9年度から近畿大学医学会賞が別途に設定されたのを機に、従前の近畿大学医学会賞を「近畿大学医学会奨励賞」（以下本賞）と名称を変更しました。
3. このたび第22回（平成24年度）本賞の募集をいたします。下記の「近畿大学医学会奨励賞に関する規約」に従って、自薦、他薦を問わず、ふるって応募して下さい。
4. 応募論文は平成23年度（平成23年4月～平成23年12月）の近畿大学医学雑誌（36巻2，3，4号，または Acta Medica Kinki University (Vol. 36, No. 1)）に掲載されたものに限り、
5. 応募に際しては次の書類を必要とします。（必要書類は学務課にあります）
 - イ. 論文審査願（様式1）……………1部
 - ロ. 論文内容要旨（様式2）……………1部
 - ハ. 履歴書（様式3）……………1部
 - ニ. 応募論文別刷……………7部
 - ホ. 共著者の応募に対する同意書（様式4）……………1部
 - ヘ. 推薦書（他薦の場合のみ）……………1部
6. 応募者は以上の関係書類を平成24年4月27日（金）までに学務課へ提出して下さい。（必着）

近畿大学医学会奨励賞に関する規約

- 第1条 近畿大学医学会は会則第3条第4項に該当する事業として医学会奨励賞（以下本賞）を制定する。
- 第2条 本賞は医学分野における学術研究の進歩発展と奨励のために、顕著な研究業績を挙げた本会会員に対して贈るものとする。
- 第3条 本賞の受賞業績の範囲、受賞候補者の資格、推薦について次のように定める。
1. 受賞業績は個人または共同研究による論文を対象とする。但し、論文の筆頭者を対象とする。
 2. 応募論文は前年度に刊行された近畿大学医学雑誌あるいは Acta Medica Kinki University のいずれかに掲載されたものに限る。
 3. 応募は自薦、他薦を問わない。募集要項は近畿大学医学雑誌の各巻第1号に公示する。
 4. 受賞資格者は45歳未満（前年3月31日現在）の本会会員とする。但し、本学教授、准教授およびそれに準ずるものを除く。
- 第4条 本賞の審査は本賞選考委員会が行う。会長が委員長となり委員若干名を評議員の中から指名する。本賞選考委員会は、6月上旬までに公表する。
- 第5条 近畿大学医学会は学術講演会で本賞を贈り、顕彰する。受賞者は同学術講演会において記念講演を行う。
- 第6条 この規約の変更は評議員会において決議し、総会において報告する。
- 付記 この規約は平成23年12月25日から施行する。

平成22年度近畿大学医学会賞受賞者リスト

平成22年度の近畿大学医学会賞の受賞者表彰式が平成23年7月9日第70回近畿大学医学会学術講演会で行われた。受賞者の所属、氏名および受賞論文と発表雑誌は以下の通りです。

基礎系講座

解剖学

升本宏平：Acute Induction of *Eya3* by Late-Night Light Stimulation Triggers *TSH β* Expression in photoperiodism

Current Biology 20 : 2199-2206

再生機能医学

河尾直之：Plasminogen is essential for granulation tissue formation during the recovery process after liver injury in mice

Journal of Thrombosis and Haemostasis 8 : 1555-1566

病理学

伊藤龍生：Neural Stem Cells and New Neurons in the Cerebral Cortex of Stroke-Prone Spontaneously Hypertensive Rats After Stroke

J Mol Neurosci 41 : 55-65

井上敬夫：Characterization of Wistar-Kyoto rats showing hyperadiponectinemia

Life Sciences 86 : 344-350

木村雅友：Disseminated human conidiobolomycosis due to *Conidiobolus lamprauges*

J Clin Microbiol 49 : 752-756

公衆衛生学

伊木雅之：Age-specific reference values of hip geometric indices from a representative sample of the Japanese female population: Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Study

Osteoporos Int

門脇英子：Prevalent vertebral deformity independently increases incident vertebral fracture risk in middle-aged and elderly Japanese women: The Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Cohort Study

Osteoporos Int 21 : 1513-1522

甲田勝康：Trends in Body Mass Index, Blood Pressure, and Serum Lipids in Japanese Children: Iwata Population-Based Annual Screening (1993-2008)

J Epidemiol 20(3) : 212-218

玉置淳子：Impact of smoking on bone mineral density and bone metabolism in elderly men: the Fujiwara-Kyo Osteoporosis Risk in Men (FORMEN) study

Osteoporos Int 22 : 133-141

藤田裕規：Tracking of appendicular bone mineral density for 6 years including the pubertal growth spurt: Japanese Population-based Osteoporosis Kids Cohort Study

J Bone Miner Metab 29 : 208-216

臨床系講座

内分泌・代謝・糖尿病内科

能宗伸輔：Insulin Transactivator MafA Regulates Intrathymic Expression of Insulin and Affects Susceptibility to Type 1 Diabetes

DIABETES 59 : 2579-2587

馬場谷成：Direct evidence for susceptibility genes for type 2 diabetes on mouse chromosomes 11 and 14

Diabetologia 53 : 1362-1371

消化器内科

石川恵美：Cecal Intussusception in an Adult with Cronkhite-Canada Syndrome Relieved by Colonoscopy

Inter Med 49 : 1123-1126

上嶋一臣：Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy Using Low-Dose 5-Fluorouracil and Cisplatin for Advanced Hepatocellular Carcinoma

Oncology 78(suppl 1) : 148-153

上田泰輔：Prolonged PEG-IFN and RBV Is

Effective in Patients with HCV Genotype 1 and High Viral Load Who Achieved Virological Response Later than 24 Weeks

Intervirolgy 53 : 55-59

井上達夫 : Radiofrequency Ablation for Hepatocellular Carcinoma : Assistant Techniques for Difficult Cases

Oncology 78(suppl 1) : 94-101

鎌田 研 : Endoscopic ultrasound (EUS)-guided transluminal endoscopic removal of gallstones

Endoscopy 42 : E331-E332

北野雅之 : EUS-guided in vivo microdialysis of the pancreas : a novel technique with potential diagnostic and therapeutic application

Gastrointest Endosc 71(1) : 176-179

工藤正俊 : The 2008 Okuda lecture : Management of hepatocellular carcinoma : From surveillance to molecular targeted therapy

J Gastroenterol Hepatol 25 : 439-452

工藤可苗 : Antitumor Activity of BIBF 1120, a Triple Angiokinase Inhibitor, and Use of VEGFR2^{pTyr} Peripheral Blood Leukocytes as a Pharmacodynamic Biomarker In Vivo

Clin Cancer Res 17(6) : 1373-1381

坂本洋城 : Estimation of malignant potential of GI stromal tumors by contrast-enhanced harmonic EUS (with videos)

Gastrointest Endosc 73(2) : 227-237

永井知行 : Sorafenib Inhibits the Hepatocyte Growth Factor-Mediated Epithelial Mesenchymal Transition in Hepatocellular Carcinoma

Mol Cancer ther 10(1) : 169-177

萩原 智 : The cancer stem cell marker CD133 is a predictor of the effectiveness of S1+pegylated interferon α -2b therapy against advanced hepatocellular carcinoma

J Gastroenterol 46 : 212-221

畑中絹世 : Usefulness of the Post-Vascular Phase of Contrast-Enhanced Ultrasonography with Son-

azoid in the Evaluation of Gross Types of Hepatocellular Carcinoma

Oncology 78 : (suppl 1)53-59

南 康範 : Radiofrequency ablation guided by contrast harmonic sonography using perfluorocarbon microbubbles (Sonoazoid) for hepatic malignancies : an initial experience

Liver Int 30(5) : 759-764

腎臓・膠原病内科

岸本和也 : Therapeutic Effect of Retinoic Acid on Unilateral Ureteral Obstruction Model

Nephron Exp Nephrol 118(3) : 69-78

嶋津秀紀 : Effect of combining ACE inhibitor and statin in lupus-prone mice

Clin Immunol 136(2) : 188-196

呼吸器アレルギー内科

東田有智 : Efficacy, safety, and tolerability of mometasone furoate in adult Japanese patients with mild asthma : open-label clinical trial findings

Curr Med Res Opin 26(1) : 203-212

腫瘍内科

岡本 勇 : Phase III Trial Comparing Oral S-1 Plus Carboplatin With Paclitaxel Plus Carboplatin in Chemotherapy-Naïve Patients With Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer : Results of a West Japan Oncology Group Study

J Clin Oncol. 28(36) : 5240-5246

岡本邦男 : Role of Survivin in EGFR Inhibitor-Induced Apoptosis in Non-Small Cell Lung Cancers Positive for EGFR Mutations

Cancer Res 70(24) : 10402-10410

岡本 渉 : Identification of c-Src as a Potential Therapeutic Target for Gastric Cancer and of MET Activation as a Cause of Resistance to c-Src Inhibition

Mol Cancer Ther 9(5) : 1188-1197

金田裕靖 : FOXQ1 Is Overexpressed in Colorectal Cancer and Enhances Tumorigenicity and Tumor Growth

Cancer Res : 70(5) : 2053-2063

倉田宝保 : A Phase I study of Gemcitabine Plus Irinotecan for Advanced NSCLC : Japan Clinical Oncology Group Trial (JCOG9904)

Jpn J Clin Oncol 40(10) : 992-994

武田真幸 : Successful Treatment With Erlotinib After Gefitinib-Related Severe Hepatotoxicity

J Clin Oncol 28(17) : e273-e274

竹澤 健 : Enhanced Anticancer Effect of the Combination of BIBW2992 and Thymidylate Synthase-Targeted Agents in Non-Small Cell Lung Cancer with the T790M Mutation of Epidermal Growth Factor Receptor

Mol Cancer Ther 9(6) : 1647-1656

谷崎潤子 : Synergistic Antitumor Effect of S-1 and HER2-Targeting Agents in Gastric Cancer with *HER2* Amplification

Mol Cancer Ther 9(5) : 1198-1207

林 秀敏 : Retreatment of recurrent malignant pleural mesothelioma with cisplatin and pemetrexed

Int J Clin Oncol 15 : 497-499

小児科

伊豆亜加音 : Pathogenesis of focal segmental glomerular sclerosis in a girl with the partial deletion of chromosome 6p

Tohoku J Exp Med 223 : 187-192

井庭慶典 : A Child with PFAPA Syndrome Complicated by Pityriasis Lichenoides et Varioliformis Acuta

Pediatr Dermatol 28(2) : 207-209

杉本圭相 : Renal Tubular Dysgenesis and Tubulointerstitial Nephritis Antigen in Juvenile Nephronophthisis

Nephrology (Carlton)

竹村 豊 : A tubulointerstitial nephritis antigen gene defect causes childhood-onset chronic renal failure

Pediatr Nephrol 25 : 1349-1353

藤田真輔 : A femal infant with Frasier syndrome showing splice site mutation in Wilms' tumor gene (WT1) intron 9

Clin Nephrol 73 : 487-491

宮沢朋生 : A patient with Henoch-Schönlein purpura manifesting unusual symptoms and clinical course

J Clin Rheumatol 16 : 338-340

外科

今野元博 : Increased Osteopontin-Positive Macrophage Expression in Colorectal Cancer Stroma with Synchronous Liver Metastasis

World J Surg 34 : 1930-1936

今本治彦 : Assessing clinical benefit response in the treatment of gastric malignant ascites with non-measurable lesions : a multicenter phase II trial of paclitaxel for malignant ascites secondary to advanced/recurrent gastric cancer

Gastric Cancer 14 : 81-90

肥田仁一 : Pouch Operation for Rectal Cancer

Surg Today 40(4) : 307-314

藤島 成 : Relationship between Thymidylate Synthase (TYMS) Gene Polymorphism and TYMS Protein Levels in Patients with High-risk Breast Cancer

Anticancer Res 30 : 4373-4380

脳神経外科

奥田武司 : Training in endoscopic endonasal transsphenoidal surgery using a skull model and eggs

Acta Neurochir 152 : 1801-1804

整形外科

三木良久 : Hyaluronan reversed proteoglycan synthesis inhibited by mechanical stress : possible involvement of antioxidant effect

Inflamm Res 59 : 471-477

皮膚科

大磯直毅 : Phylloid Hypermelanosis and Melanocytic Nevi with Aggregated and Disfigured Melanosomes : Causal Relationship between Phylloid Pigment Distribution and Chromosome

13 Abnormalities

Dermatology 220 : 169-172

形成外科学

朝村真一 : Bone Regeneration Using a Bone Morphogenetic Protein-2 Saturated Slow-Release Gelatin Hydrogel Sheet *Evaluation in a Canine Orbital Floor Fracture Model*

Ann plast Surg 64 : 496-502

松永和秀 : Association between preoperative inferior rectus muscle swelling and outcomes in orbital blowout fracture

Journal of Cranio-Maxillo-Facial Surgery 39 : 509-514

眼科学

國吉一樹 : Oscillatory Potentials with Repeated-Flash Electroretinography

Jpn J Ophthalmol 54 : 32-35

杉岡孝二 : Connective Tissue Growth Factor Cooperates with Fibronectin in Enhancing Attachment and Migration of Corneal Epithelial Cells

Tohoku J. Exp. Med. 222 : 45-50

若山曉美 : Influence of target size and eccentricity on binocular summation of reaction time in kinetic perimetry

Vision Research 51 : 174-178

産婦人科学

小谷泰史 : Carbamyl phosphate synthetase deficiency and postpartum hyperammonemia

AM J Obstet Gynecol

渡部 洋 : Evaluation of Parametrial Spread in Endometrial Carcinoma

Obstet Gynecol 116(5) : 1027-1034

放射線医学 (腫瘍学部門)

西村恭昌 : A Two-step Intensity-modulated Radiation Therapy Method for Nasopharyngeal Cancer : The Kinki University Experience

Jpn J Clin Oncol 40 : 130-138

ライフサイエンス研究所

本田映子 : Transforming Growth Factor - β

Upregulates the Expression of Integrin and Related Proteins in MRC-5 Human Myofibroblasts

Tohoku J. Exp. Med 220 : 319-327

分院

堺病院 眼科

有村英子 : Correlations between M-CHARTS and PHP Findings and Subjective Perception of Metamorphopsia in Patients with Macular Diseases

Invest Ophthalmol vis Sci 52(1) : 128-135

下村嘉一 : Suppression of Herpes Simplex Virus 1 Reactivation in a Mouse Eye Model by Cyclooxygenase Inhibitor, Heat Shock Protein Inhibitor, and Adenosine Monophosphate

Jpn J Ophthalmol 54 : 187-190

奈良病院 整形外科

岸本英樹 : Induction of hypertrophic chondrocyte-like phenotypes by oxidized LDL in cultured bovine articular chondrocytes through increase in oxidative stress

Osteoarthritis Cartilage 18 : 1284-1290

近畿大学医学会奨励賞

七部 史 : 網膜神経線維走行モデルを用いた緑内障診断に関する研究

一 般 演 題 抄 錄

近畿大学医学会奨励賞記念講演抄録

近畿大学中央図書館



Z1370246

R